

平成 2 6 年 度

# 事 業 報 告

(であい・ふれあい・支え合い)

自 平成 2 6 年 4 月 1 日

至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 丸森町社会福祉協議会

## 平成26年度社会福祉法人丸森町社会福祉協議会総括事業概要報告書

長期にわたる景気の低迷など内なる構造的課題に加え、空前の大震災、原発事故などが追い打ちを掛け、経済・雇用に影響を及ぼしていましたが、最近ではそれも回復傾向に転じ、先行き緩やかな回復基調が続くであろうと言われております。

一方、地域社会では、中高年の一人暮らし二人暮らし世帯が目に見えて確実に増え続け、過疎化と少子高齢化が急速に進行しております。この時代の波に翻弄されるかのように家族形態と家族機能へも大きな変化をもたらし、それは今日まで地域住民同士が営々と築き上げてきた「共同体」地域コミュニティにも大きな影を落としています。これに伴い、地域によっては「限界集落」という言葉さえ聞こえてきます。

この時に本協議会は、本町地域福祉計画に則し、本町の目指す地域福祉のあるべき姿を目標にして、地域福祉向上と、地域住民同士が共に支え合い、住み慣れた地域で元気に過ごすことが出来る仕組みづくりを進めるため、各種団体と連携しながら「ふれあいサロン」の活動など福祉活動の拠点づくりと支え合いの仕組みづくりに努めてまいりました。

また、開設2年半を経過した「丸森たんぽぽこども園」は、3月末の入園児童数、保育園機能152名幼稚園機能24名、開設当時と比べおよそ1.8倍にまで膨れ上がりました。寄せられた期待に応えるため、職員一丸となって、より質の高い教育保育に努めて参りました。11月から12月にかけては「こども園」を利用する保護者を対象に保育サービス満足度把握と意見要望を調査するアンケートを実施しました。集計結果は保護者を始め町関係者町議会議員等に広く公表し、透明性を図って参りました。利用者視点による客観的な評価を参考に改善を図るなど、今後のより良い教育保育環境の充実向上に反映させて参ります。

なお、大張児童館は地方自治法に基づく指定管理者として、運営を地域の方々の協力を頂きながら保育目標達成に努めてまいりました。

結びに、本協議会のスローガン「であい・ふれあい・支え合い」をキーワードに、地域福祉課題や生活課題などの問題解決を図りつつ「誰もが、その地域で安心して暮らすことのできる、福祉の町づくり」を行政始め住民自治組織、民生委員児童委員協議会など各種団体と連携し、継続的に事業を展開してきたことを報告いたします。

## ◎重点事業

### 1. 地域福祉の推進

以前より町と連携して「災害時要援護者台帳」新規登録者の追加等を民生委員児童委員の協力を得ながら実施してきましたが、平成 26 年度も町の緊急雇用創出事業業務委託制度を利活用し、台帳の更新作業を実施しました。年度末登録者数 1,357、対前年度比およそ 40 の減、高齢者と要介護認定者の死亡、施設入所及び他市町への転出が主なる要因となっています。

対前年比減とはなりましたが、対前々年比は増えており、見守り支援が必要とされる高齢者などが増えつつあることは確実です。これまで以上に見守りの「目」を増やそうと町、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、住民自治組織などで組織する「丸森町見守りネットワーク」の体制づくりに参画するとともに、町民生委員児童委員協議会と連携しながら小地域における高齢者等の見守りネットワークの構築に努めました。

### 2. 児童福祉と福祉教育の推進

こども園の運営は平成 27 年 4 月で 2 年半を経過しましたが、こども園創生期にあることを十分自覚し、町や仙台大学はじめ県内の保育教育関係法人などの協力を頂きながら、より質の高い教育保育の確立と充実に努めました。

また、大張児童館の管理運営は、地域から大きな協力を頂きながら地域とともに地域に根差した教育保育に取り組みました。また、児童数の減少による少人数教育保育のデメリットを補完すべく、こども園と相互連携して交流保育、合同保育と集団で過ごす取り組みに努めました。

福祉教育については、小中学校や高校、県障害者福祉施設等の深い理解と協力を頂き、キャップ・ハンディ体験や高齢者との交流事業などに取り組みました。

### 3. 介護を予防するための事業の充実強化

町の介護予防事業と連携し、小学校の協力を得ながら実施した「もりもりクラブ」など高齢者対象事業は継続的に取り組みました。

また、ふれあいサロン事業も地域で少しずつ広がりを見せており、サロンの代表者を対象とした研修会を開催し介護予防への理解と普及に努めました。



- (5) 理事広報委員会 . . . 4回開催  
社協事業をわかりやすく住民の方々に伝えるべく、「社協まるもり」の編集に努めた。

○県及び町の監査

- (1) 宮城県保育施設指導監査 . . . 10月 7日実施  
(2) 町監査 (丸森たんぼぼこども園) . . . 11月11日実施

○会計労務指導について

- (1) 法人会計監査 (車田正光公認会計士事務所と契約) . . . 12回  
(2) 人事労務コンサルティング . . . 随時  
(小野寺陽子社会保険労務士事務所と契約)

②社会福祉協議会会費制度の拡充

会員会費 (一般会費、賛助会費、特別会費) 及び寄付金、共同募金配分金、各種受託金が事業活動の主財源であり、そのうち会員会費は常に拡充を図った。

- |          |               |              |
|----------|---------------|--------------|
| (1) 一般会費 | . . . 4, 272戸 | 3, 417, 800円 |
| (2) 賛助会費 | . . . 235戸    | 70, 500円     |
| (3) 特別会費 | . . . 53戸     | 530, 000円    |

(2) 研修事業

○自立経営に向けての研修会・協議

- (1) 役職員研修会等 . . . 12回参加  
(2) 仙南地区社協連絡会主催 . . . 5回参加  
(3) 県南地域社協連絡会主催 . . . 4回参加  
(4) 職員研修 . . . 23回参加  
(5) 受託団体研修会 . . . 7団体 計23回参加

(3) 企画広報事業

①健康と福祉のつどい

健康と福祉のつどい運営委員会を中心として、各種団体との連携により「健康で互いに支え合うまちづくり」を推進することを目的に住民だれもが参加できるつどいを実施した。

10月26日 750名参加 (午前500名・午後250名)

②社会福祉事業功労者表彰式

永年にわたり地域福祉の向上に貢献した方々やボランティア活動実践の団体・個人に対して、記念の『表彰楯』を贈呈した。2月13日 110名参加

. . . 被表彰者 個人14名 15団体 4企業

#### (4) 助成事業

誰でも安心して暮らせる地域福祉づくりのため地域福祉を担うニーズ調査の実施や福祉団体等と協働での事業実施をすることによる町民福祉の向上を目指した。

・・・12団体に合計851,667円を助成

#### (5) 地域福祉活動の推進・共同募金配分金事業

##### ①住民自治組織活動との連携強化

地区自治組織福祉関係部会(地区社協)との協働事業に取り組むため、地域の福祉課題を共有し地区組織や関係機関と協力しながら、介護予防事業と地域防災の啓発活動を行った。

##### ②老人福祉事業推進

###### ア) ふれあいサロン

地域を拠点として、レクリエーションや頭の体操をすることにより、介護予防へのつながり、いつまでも住み慣れた地域で元気よく暮らせるよう支援することを目的として実施した。

・・・62団体、回数延べ660回活動

・「ふれあいサロンお茶のみ会」リーダー研修会開催 ・・・3回開催

###### イ) 生活あんしん事業

地域住民の安心安全を目的に、自主防災組織とも連携していくように働きかけていくとともに、災害時持出用品及び災害時備蓄品の展示・説明と試食品の提供を行った。

・・・3地区

###### ウ) 愛の手紙(誕生カード)事業

65歳以上ひとり暮らし高齢者の方々へ、かっこボランティア(中学生・高校生)手づくりの『誕生カード』と絵手紙教室ボランティアの絵手紙添え、毎月誕生月に作成して送付した。

・・・合計462枚

###### エ) あんしんカード【災害時要援護者カード】作成 配布

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、民生委員の協力を得て、災害時要援護者カード(通称:あんしんカード)の更新業務を行った。

平成23年10月から災害時要援護者カードへ移行

・・・登録者合計1,357名

###### オ) ひとり暮らし高齢者防火診断協力【主催 角田消防署】

角田消防署と民生委員が連携して行う高齢者一人暮らし防火診断に協力した。

・・・丸森・金山地区計22世帯

###### カ) もりもりクラブ

元気老人対策事業の一環として、小学校の協力のもとで、高齢者と児童が交流を行った。

・・・4校延べ8回開催 児童延べ93名 高齢者延べ66名参加

キ)ひとり暮らし高齢者宅電気配線点検

ボランティア団体「丸森清瀧電友会」が行う80歳以上の高齢者がいる世帯の電気配線の点検に協力した。・・・大張地区16世帯

ク)小地域ネットワーク活動(丸森町民生委員児童委員協議会)H26.12～

小地域を単位として、要援護者を近隣の人びとが見守る活動を丸森町民生委員児童委員協議会と連携して今年度から始めた。

・・・事業実施に向けての打ち合わせ1地区

### ③障害福祉事業推進

ア)丸森町障害福祉団体連絡協議会(8団体)

障害種別の違いを超え、障害がある方々とボランティアとの交流や支援を通じて相互理解を深め、住みよい地域づくりを推進した。

・・・情報交換会2回実施

イ)障害者支援事業

心身障害関係の方に『クリスマスプレゼント』を贈った。

・・・7団体110名に贈呈

ウ)視覚障害者支援事業

ボランティア 声のプロムナードの協力を得て、視覚に障害のある方に、毎月広報紙をカセットテープに吹き込んで、「声のテープ」を自宅へ郵送した。

・・・視覚障害者1名 延べ12回郵送

### ④児童福祉推進事業

ア)遺児支援事業

宮城県社会福祉協議会の助成事業の一環として、遺児を対象に民生委員の協力を得て、文具券とメッセージカードをプレゼントしました。・・・25名に贈呈

イ)子育て支援事業協力と子育てグループの活動支援

丸森町の子育て支援センター「こりす園」・「ブックスタート」でのボランティア活動を支援した。

・こりす園活動支援 ・・・年間延べ34名派遣

・ブックスタート事業 ・・・8日間延べ24名派遣

ウ)子育てボランティアの育成

・子育てサポーターリーダーネットワーク研修会 ・・・1日間延べ4名派遣

・子育てサポーター養成講座 ・・・3日間延べ2名派遣

・子育てサポーターフォローアップ研修会 ・・・1日間延べ1名派遣

### ⑤その他の福祉事業

ア) 避難者家族のつどい

東日本大震災の影響で本町へ転入されている世帯を対象に、プレゼントを送った。 . . . 18世帯53名参加

#### ⑥災害援護事業

町民の方で、災害罹災世帯へ見舞金を贈呈した。 . . . 0件

#### ⑦住民への地域福祉の啓発

ア) 広報紙『社協まるもり』の発行

社協だより「社協まるもり」を発行。町内会の協力を得ながら、全戸配布に努めるとともに関係機関等へ配布した。 . . . 年間4回22,000部発行

◎ホームページ作成準備作業（平成26年度から運用開始）

イ) 福祉教育の推進

町内の児童を対象として、福祉体験学習を行った。

- ・丸森小学校 2回
- ・館矢間小学校 1回
- ・大内小学校 1回
- ・2014夏チャレンジボランティア in 仙台 1回

. . . 5回実施延べ153名参加

#### ⑧エコキャップ運動への協力

住民からお寄せいただいたエコキャップを NPO 法人エコキャップ推進協会へ送る活動を行いました。 . . . 115,140個

### (6) 在宅福祉サービスの推進

#### ①福祉機器貸与事業

要介護認定者を除く介護が必要な方々に対し、車椅子と介護用ベッドの貸し出しを行った。 . . . 車椅子5件貸出 介護用ベッド19件貸出

### (7) 丸森町ボランティアセンター運営事業

#### ①ボランティア活動の相談・斡旋

住民の自主的活動であるボランティア活動が円滑に実践されるよう支援した。

丸森町ボランティア連絡会 . . . 27団体571名

#### ②ボランティア活動のための支援援助

ボランティア活動が円滑に進められるよう、ボランティア活動調整・情報提供・研修会の開催・講師の派遣等を行いました。

- ・配食サービス調整 . . . 年間51日派遣
- ・子育て支援センター「こりす園」支援ボランティア調整 . . . 年間6回延べ59名派遣
- ・ブックスタート事業(7か月乳児健診) . . . 年間8回延べ24名派遣



### ③成年後見制度《法人成年後見人》

平成19年度から1名の方の成年後見人を受任。入院費の支払い等の支援を行った。

・・・年間延べ26回支援

## (10-1) 受託事業

### ①地域福祉等推進施策受託事業

ア) 丸森町高齢者スポーツ大会の開催

スポーツ推進委員の協力を得て、誰にでも気軽に行えるニュースポーツを行った。

・・・年間1回開催 17団体 100名参加

イ) ボランティア育成事業

ボランティアグループの支援と育成を目的にボランティア及び関連団体の調整や交流を図り、活動費の助成を行った。

・・・25グループ合計125,000円助成

### ②家族介護者交流事業

寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護する家族を支援するため、介護者同士の情報交換の場として交流事業を開催した。

ア) 認知症家族介護者の相談・交流会 ・・・年間2回実施 延べ10名参加

イ) 家族介護者交流サロン ・・・年間6回実施 延べ68名参加

ウ) 男の料理教室&介護教室 ・・・年間2回実施 延べ13名参加

### ③緊急雇用創出事業業務委託事業

(丸森町災害時要援護者台帳整備事業受託)

災害時に家族等の援助が困難で何らかの助けを必要とする要支援者の「災害時要援護者台帳」を新規登録作業・更新作業を行った。

・・・台帳件数1,395件

## (10-2) 指定管理事業

### ①丸森町大張児童館の管理運営

## (11) 低所得者世帯資金貸付事業

### ①所得世帯への資金貸付事業と償還指導（民児協協力）

本町に居住する低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、生活の安定や生活意欲の助長を図った。

ア) 生活福祉資金貸付事業 ・・・0件

イ) 生活福祉資金貸付事業(災害復興支援資金) ・・・1件(H23貸付)

ウ) 生活福祉資金貸付事業(緊急小口資金10万円～20万円)・・・35件(H23貸付)

エ) 生活安定資金貸付事業 ・・・6件

(12)丸森たんぽぽこども園運営等に関する事業

①丸森たんぽぽこども園利用状況(長時間保育・短時間保育)

	保育 日数	在 籍 児童数	出席延べ児童数						合計
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	(長) 25日	140人	124人	207人	514人	377人	595人	609人	2,431人
	(短) 17日	24人				136人	151人	60人	342人
5月	(長) 24日	144人	165人	244人	538人	416人	628人	669人	2,660人
	(短) 20日	24人				180人	167人	72人	419人
6月	(長) 25日	146人	202人	259人	603人	441人	687人	718人	2,910人
	(短) 21日	24人				217人	184人	76人	477人
7月	(長) 26日	146人	237人	284人	660人	475人	690人	746人	3,092人
	(短) 14日	25人				138人	141人	57人	336人
8月	(長) 26日	147人	195人	184人	469人	302人	497人	502人	2,149人
	(短) 5日	25人				50人	39人	20人	109人
9月	(長) 24日	150人	256人	285人	568人	396人	649人	645人	2,799人
	(短) 20日	24人				183人	142人	71人	396人
10月	(長) 26日	152人	305人	327人	647人	452人	734人	745人	3,210人
	(短) 23日	24人				233人	172人	78人	483人
11月	(長) 23日	151人	255人	274人	549人	390人	635人	633人	2,736人
	(短) 18日	24人				182人	143人	65人	390人
12月	(長) 23日	151人	205人	253人	526人	359人	602人	604人	2,549人
	(短) 15日	24人				149人	116人	55人	320人
1月	(長) 23日	151人	256人	253人	545人	363人	594人	606人	2,617人
	(短) 16日	24人				146人	94人	53人	293人
2月	(長) 23日	151人	239人	261人	536人	373人	602人	631人	2,642人
	(短) 19日	24人				190人	136人	65人	391人
3月	(長) 25日	152人	307人	305人	621人	443人	669人	576人	2,921人
	(短) 15日	24人				154人	112人	56人	322人
合計	(長) 293日		2,746人	3,136人	6,776人	4,787人	7,582人	7,684人	32,711人
	(短) 203日					1,958人	1,597人	728人	4,283人

※各月における利用人数について、長時間保育を上段、短時間保育を下段に計上。

## ②こども園の主な行事

月	行 事 内 容
4月	入園式（7日） 交通教室はじめの会（17日）避難訓練講話（18日）
5月	チューリップ摘み取り体験（1日） こどもの日祝い会（2日） 保育参観：クラブ活動公開保育・4, 5歳児対象（14・28日） 保育参観：3歳児対象（21日） 内科検診（21日） 歯科検診（30日）
6月	内科検診（4日） ジェロントピア訪問（10日） 歯科検診（20日） 保育参加（3歳未満児対象）（24日～27日） 親子遠足（3歳以上児対象）（27日）
7月	プール開き（4日） 七夕まつり（7日） 短時間保育児童終業式（18日） 夏まつり会（19日）
8月	斎理幻夜イベント参加（9日） 短時間保育児童始業式（25日）
9月	祖父母参観（3日） プール納会（5日） ひまわり祭参加（22日）
10月	運動会（4日） 秋野菜クッキング（17日） 健康と福祉のつどい（26日） 内科検診（29日） 大根狩り（31日）
11月	内科検診（5日） 国際交流事業（6日） 焼き芋会（7日） 通報・避難・消火訓練（7日） 歯科検診（20・27日） 発表会（29日）
12月	デン德拉キャラバン（2日） クリスマス会・たにぞうコンサート（18日） 短時間保育児童終業式（19日）
1月	短時間保育児童始業式（8日） お楽しみ会・感謝の会（16日） 親子そりすべり体験（蔵王）（29日）
2月	まめまき会（3日） 1日入園説明会（14日） 保育参観（4歳児）（17日） 保育参観（5歳児）（19日）
3月	ひなまつり会（3日） お別れ会（13日） 卒園式（20日） 短時間保育児童終業式（20日）
その他	毎週 こども園開放（子育て支援センター）水曜日 午前9時30分～11時30分 毎月 避難訓練（地震・火災・不審者）・交通教室・身体測定 毎月第2第・4水曜日 4・5歳児クラブ活動 内科健診・歯科検診は年に2回（春・秋に実施）

### ③クラブ活動実施状況

外部講師を招いて4, 5歳児を対象にクラブ活動を実施。特技や特性を活かしながら伸ばすことを目的として活動した。

実施回数 月2回程度

時 間 午前10時30分から11時30分

講 師 絵画クラブ 大槻 恵子  
英語クラブ E S L代表 齋藤 由理  
音楽クラブ 細渕音楽教育研究所代表 細渕 誠一  
運動クラブ 仙台大学講師 河野未来

・・・年間延べ 68回実施

### ④各種事業年間利用者実績

子育て家庭を支援する目的として、各種事業を展開、実施した。

ア)子育て支援センター事業

子育てサロンこりす園 ・・・年間延べ3, 115名利用

育児サークル ・・・年間延べ440名利用

子育て相談 ・・・年間18件受付

イ)一時預かり保育事業(有料) ・・・年間延べ277名利用

ウ)病後児保育事業(有料) ・・・年間延べ11名利用

エ)短時間児預かり保育事業(有料) ・・・年間延べ29名利用

オ)延長保育事業(有料) ・・・年間延べ1, 353名利用

### (13) 関係機関との連携

丸森町の福祉行政を中心に町内の介護保険事業所や関係機関、また、宮城県社会福祉協議会や各市町村社会福祉協議会と連携しながら福祉事業を推進した。